

# 熊本市の漁業と生産

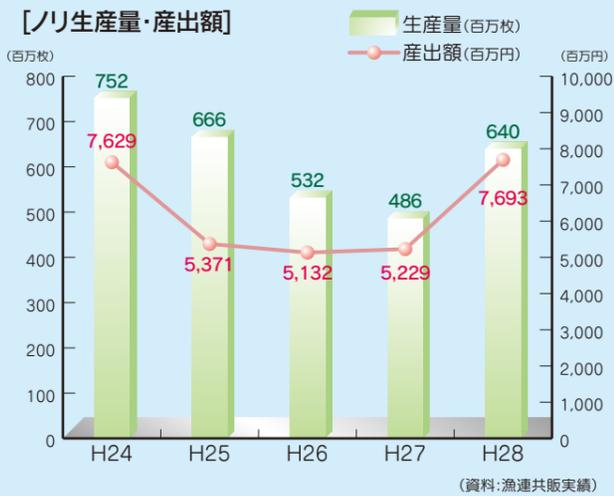


## ノリ養殖業

本市の地先では、10月から翌年3月までの間、ノリ養殖業が営まれています。

本市では毎シーズン約5～7億枚の乾ノリが生産されています。

生産された乾ノリは、熊本県漁業協同組合連合会で入札にかけられ、ノリ商社を通して販売されます。



ノリの収穫風景  
現在では、省力化が図られシステム船の導入がすすんでいます。

## 採貝業

坪井川、白川、緑川の河口に広がる広大な干潟漁場では、主にアサリ、ハマグリなどが漁獲されています。

漁獲された貝類は、熊本県漁業協同組合連合会や市場を通して販売されます。



アサリの採貝



## 網漁業

沖合の漁場では、小型漁船や小型定置網による網漁業が行われています。魚類ではヒラメ、ウシノシタ、スズキ類など、甲殻類ではクルマエビ、ガザミなど、また軟体動物では、コウイカなどが水揚げされています。

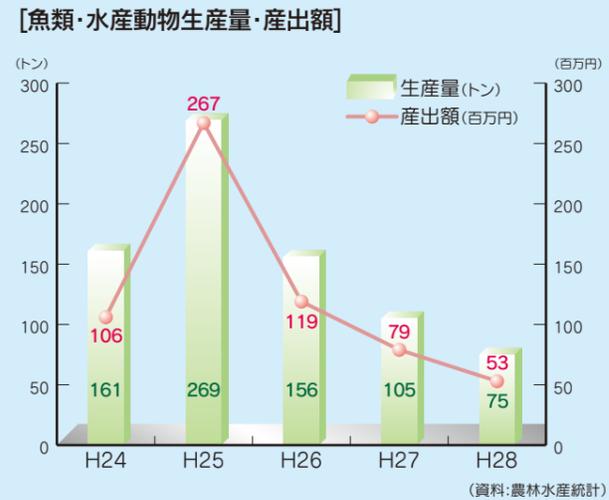
水揚げされたものは市場や仲買を通して販売されます。



ガザミの漁獲



流し網漁の風景



## 内水面養殖業

本市の江津湖周辺では、清らかな湧き水を利用した観賞魚(錦鯉・金魚・メダカ)の養殖業が営まれています。近年では、品種改良等により一般家庭でも飼いやすい観賞魚が作られています。また、富含町、植木町では、うなぎの養殖業が営まれています。



錦鯉品評会

